

事例4：

社会医療法人社団カレスサッポロ 時計台記念病院（北海道）の取り組み

「理学療法士等の業務支援により、日勤の看護師を他の勤務シフトに変更できた」

概要

- (状況) 1病棟（急性期病棟46床）入院患者4人、職員12人が感染し、看護師の不足状況が発生。
(支援) 19日間。延べ38人（2人／日）の理学療法士が業務支援実施。
(結果) 日勤勤務予定であった複数の看護師を、看護師が不足する他の勤務シフトに変更することができた（12日間分）。

コロナ対応病棟での支援

- ・コロナ対応専門病棟はなし

その他の病棟での支援

- ・夜勤業務：なし
- ・食事援助（食生活支援）・排泄援助（自然排尿・排便援助）
- ・活動・休息援助（移動の介助・移送、体位変換）
- ・症状・生体機能管理（検温、血圧測定、酸素飽和度測定）
- ・清潔・衣生活援助（清拭、口腔ケア、陰部ケア補助、寝衣交換等の衣生活支援、整容）
- ・経口薬の与薬確認

病院プロフィール

- 病院の機能説明：一般急性期、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟あり
- コロナ患者対応：疑似症例のみ受け入れ準備あり
- 全病床数：250床（回復期リハ病棟42床 他208床）
- 感染対策の教育：平常時よりリハ部内で実施 ○